

公益社団法人南城市シルバー人材センター
令和6年度事業報告

I. 概要

令和5年10月から導入されたインボイス制度からすでに1年以上が経過し、当センターは配分金にかかる消費税の負担を負っています。そのため、財政的には厳しい状況が続いています。さらに、税制における仕入税額控除の経過措置（80%控除）が令和8年に終了することが決まっているため、早期にフリーランス法への転換を進め、役職員向けの勉強会や市役所などの発注者に対する説明会を実施し、令和7年4月1日に移行することができました。

そのような中、第4次中期事業計画が最終年度を迎え、目標達成に向けて会員や役職員が一丸となって事業推進に取り組んできました。

事業の成果をみると、受注契約の増加に伴い、契約金額や配分金額が増えた一方で、就業率は4.3%減少し、就業延人員も57人日減となっています。会員数については、主に加齢などの理由で退会者が増加し、最終的には2名減となりました。

また、平成27年度からシルバー人材センターの独自事業として運営されてきたグリーンエコリサイクルセンターですが、草木の搬入や堆肥などの販売による収益では運営費や人件費を賄うことができず、必要な資金を確保することが困難な状況が続いていました。このため、総務財政委員会や理事会で慎重に審議を重ねた結果、最終的に令和7年3月31日をもって閉鎖することが決定されました。

派遣事業については、派遣依頼や派遣就業を希望する会員が減少したことにより、176人日減となりましたが、社会参加活動として取り組んだボランティア活動では5人の増加があり、シルバー事業の普及と啓発に大きく寄与しました。

令和6年度の事業状況の概要は次のとおり。

項 目	6 年 度	5 年 度	増 減
会 員 数	196 人	198 人	△2 人
契 約 金 額	98,350,843 円	96,158,671 円	2,192,172 円
就 業 率	68.4%	72.7%	△4.3%
就 業 延 人 員	14,828 人日	14,885 人日	△57 人日
配 分 金	70,169,148 円	68,443,618 円	1,725,530 円
ボ ラ ン テ ィ ア 数	179 人日	174 人日	5 人日
派 遣 事 業 延 人 日	649 人日	825 人日	△176 人日

※ 人口 46,954 人 60 歳以上 15,151 人 (32.3%) 令和7年3月末日

Ⅱ. 事業実施報告

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業 機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を家庭、民間事業者、官公庁等から有償で引き受け、高齢者の能力、希望に応じて請負又は委任により、除草や屋内外の清掃、大工作業、福祉・家事援助サービス、農作業、デマンドバスオペレーター業務、ごみ回収等の就業を提供した。

＜実績＞ 就業延人日 13,972 人日 ・ 受注件数 552 件

② 独自事業

高齢者の就業機会を拓げるため、高齢者独自の創意と工夫によるグリーンエコリサイクル事業を行った。

＜実績＞ 就業延人日 856 人日

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機 会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に対し、有料の職業紹介事業を行った。

＜実績＞ 件数 0 件

② 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する高齢者に対し、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で一般労働者派遣事業を行った。

＜実績＞ 件数 21 件 ・ 就業延人日 649 人日 ・ 契約額 3,597 千円

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及 び技能を付与するための講習会

① 技能講習会の実施

就業上必要な知識、技能を就業意欲のある高齢者に付与することにより実際の就業に結びつけるとともに、より広い就業分野での仕事の確保と提供を行い、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与した。

＜講習会の開催＞

・刈払機取扱講習会 1 回 延べ 49 名

(4) 上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を 推進するための諸活動

① 普及啓発

シルバー事業の信頼と理解が得られるよう、市民、事業所、官公庁に対し、事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知すると共に、高齢者自身に対する意識啓発を行った。

＜具体的取り組み＞

ア 多様な知識・資格・能力を持つ高齢者への事業参加の呼びかけ

名刺カードを作成し、会員一人ひとりが地域の高齢者に配布し、事業への参加を呼びかけた。

また、サークル活動を行なっている団体や、市内の自治会へ訪問し入会促進に努めた。

イ シルバー広報紙「くがに」を３回発行

シルバー広報紙「くがに」を３回発行し、シルバー事業の意義や理念を周知するとともに、会員の声や就業状況、ボランティア活動等を紹介し、高齢者の意識啓発につなげた。

ウ 普及啓発促進月間（１０月）の推進

南城市役所に隣接する公共駐車場の清掃ボランティア活動を行い、シルバー事業の普及啓発につなげた。

・ボランティア参加数 ４９名

エ マスメディアへの活動情報の提供

ボランティア活動等の状況を市の広報担当に情報提供した。

オ ホームページを利用した情報提供

ホームページを利用し、シルバー事業の内容や活動情報を提供した。

カ その他、必要な事項（チラシ、パンフレットの配布等）

市民、事業所、官公庁等に対し、チラシ、パンフレット等を配布し、シルバー事業の理念を周知した。また、役所入り口でチラシを配布し来庁者へのシルバー事業の理念を周知した。

② 安全・適正就業の推進

センターから提供した仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、高齢者の安全意識の高揚と啓発活動を行った。

ア 安全・適正就業推進委員会の開催。（年４回）

イ 安全・適正就業推進員の配置と安全パトロールの実施

・安全・適正就業推進委員会による巡回指導。（年１２回）

ウ 安全・適正就業強化月間（７月）の設置と大会の開催

・安全・適正就業推進大会 １回開催

（７月１０日 ３７名参加）

エ 「適正な運営のための受注基準」に基づく受注の徹底

就業の受注においては、受注基準を順守し、適正な運営に努めた。

オ その他、必要な事項（安全・適正就業に関する朝礼での情報提供等）

当センターで発生した事故の状況及び県連合から提供された、県内全センターの事故発生情報を朝礼で報告し、再発防止に努めた。また、毎月安全標語を事務所前に掲示し、高齢者全員が安全意識を高めることを目的としたメッセージを共有している。

③ 調査研究

時代の要請に対応した事業展開を図るため、高齢者の就業に対する意識と就業実態に関する調査やシルバー事業への評価等の調査を行った。

・ 高齢者 10 人

ア シルバー事業に対する一般高齢者や会員の意識調査の実施

新規入会者を対象にシルバー事業に対する意識調査を行った。

・ 新規入会者 19 人

イ 一般家庭、民間事業者、官公庁等の意識調査の実施

発注者を対象にシルバー事業に対する意識調査を実施した。

・ 発注者 5 件

④ 就業分野の開拓・拡大等

高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、職業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を行った。

ア 会員・職員の事業所等への開拓訪問の実施

・ 訪問件数 10 件

イ 就業機会開拓員の配置と就業開拓の推進

・ 新規開拓 140 件

ウ 会員の知識・資格等を活用した独自事業や新たな就業分野の検討

汚泥発酵堆肥の製造・販売（15k・5k）を行い、会員の就業拡大に繋がった。

⑤ 相談・情報提供

入会を希望する高齢者に対し、入会説明会を実施し、高齢者からの相談、または、地域における働く高齢者のワンストップサービスセンターとして、相談、情報提供を行った。

ア 市内在住高齢者に対して入会説明会の開催

・ 年間 22 回開催 42 人参加 19 人入会

イ 高齢者への相談対応

入会説明会に併せて相談対応を行った。 42 人参加

⑥ 社会参加活動の推進

ボランティアによる社会参加を希望する高齢者に対し、市民、事業所、官公庁と連携してボランティア活動を推進した。

・ 地域と連携したボランティア活動及びその他ボランティア活動
延 179 人参加

(5) 運営体制

① 理事会活動の強化

センター運営体制の充実強化を図るため、次のとおり取り組んだ。

会議の開催

・ 定時総会（5 月 29 日） ・ 理事会 10 回 ・ 三役会議 12 回

② 会員組織の強化

地域班毎に毎月ボランティアをすることで、組織強化に繋がった。

・ ボランティア活動 6 回

③ 専門委員会活動の強化

ア 総務財政委員会 2 回

④ 事務局体制

・ 職員会議 46 回

⑤ その他必要な会議の開催

・ 連合主催事務局長会議及び職員研修

⑥ 関係行政機関及び各種団体との連携

ア 南城市地域包括支援センターとの事業調整会議	1 回
イ 南城市観光商工課との事業調整会議	8 回
ウ 南城市田園整備課との事業調整会議	1 回
エ 南城市交通政策課との事業調整会議	4 回
オ 南城市デジタル推進課との事業調整会議	2 回
カ 南城市生活環境課との事業調整会議	4 回